

55人参加のもと 一泊お山しゅぎょう

「先生」を担当する高2、高3男子2名も加わって

平成22年7月26日(月)～27日(火)

第12回 厚木 本照寺「一泊お山しゅぎょう」

■過去最多の参加者となる 55 人を迎えるため、前日から準備作業に入る。一輪車に乗せた七輪 10 個、薪、イスなどを坂下の物置から幾度となく運ぶ。そう、55 人には 55 人分の準備が必要となる。食器、寝袋、テント等々、はあはあ…息が切れる。

■初日午前9時、いよいよ集合。天気は上々だが、「空よ、2日間、もってくれ！」と、思わず天を仰ぐ。

開校式～友達を知ろう～記念写真～しゅぎょう～お話～そして、昼食、と、あつという間の3時間。午後はコマ図を見ながらのウォークラリーに出発。1班から10班まで、数分ごとに階段を下り、地図の道を左へと進む。地図途中には10カ所の問いかけがあり、「誰かに声をかけて聞かないと分からない」といった地元交流の質問も2つ。

100点満点にて10班で競うのだが、今回は皆、真剣だ。というのも、テントは7張りのみ。3つの班は本堂就寝組となるのだ…

本堂就寝班が決定後、(7つの班で)テント張り～夕食準備～温泉入浴(七沢温泉の七沢荘は、総勢65人でも楽々受け入れ可能で大助かり)～夕食～しゅぎょう～花火～紙芝居(本読み)～怖い話～肝だめし…しかし、カレーを食べ始めた時、にわかには暗雲と雷が…で、「本堂で食べるよ～！」

一同本堂へ入ってほどなく、ピカ、ゴロゴロ!!! 更に大雨と強風だったが、3時間後の9時には就寝準備ができる状況となり、テント組と本堂組へ分かれて午後10時、就寝。…グウ、グウ…いやいや…全然寝ません…(花火と肝だめしは中止となりました)。

■2日目午前6時、起床。ラジオ体操～しゅぎょう～朝食(徒歩10分・マック)～清掃(ひとり20個のゴミを拾うんだよ)～プール～昼食(流しそーめん)～親への手紙(今まで言えなかったお父さん・お母さん『ありがとう・ごめんなさい』『お願いがあります』など)～お話(開校式)となり、2日間を終えた。

■「(コンビニで)お金があるから買えるって、実は違うんだよ～」といった『関わりの中での自分』といったことや、「命に対しての『いただきます、ごちそうさま』でもあるんだよ～！」

だから、いただいた命が、人が、喜んでくれることをしようね～！ いただいた命が、人が悲しむようなことをしちゃいけないよ～！」といったことを話すのだが、はたしてどこまで伝わるのか？ 毎年思うこと…。ですが2日間、私も「班の先生」を務め、みんなから、「おしょうにん！」と、それこそ何百回となく言われると、やはり皆、かわいくなるもの。

■今年、「親への手紙」でこんなことがありました。

「おしょうにん！ 手紙できたよ！ 住所はここへ書けばいいの？」と、A君。しかし、書かれた父親の名字が違います。「あれ？ お父さんの名前…」「うん、離婚したんだ…」

■「来年も来るんだよ～！ 待ってるからね～！」

閉校式後に本堂前で、解散の皆に幾度となく同じ言葉を掛ける。そんな言葉を掛けながら、「A君、新しいお父さんと仲良くできるといいな」と、願わずにはいられない…

平成22年7月28日 須藤教裕(きょうゆう)